

経営比較分析表（令和4年度決算）

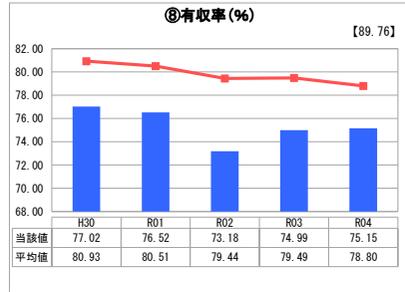
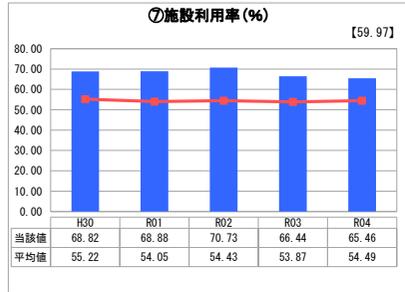
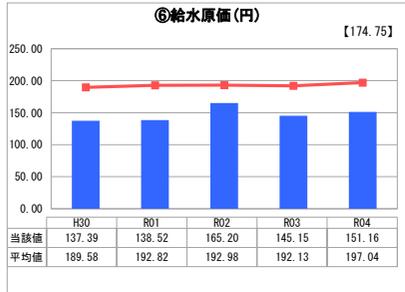
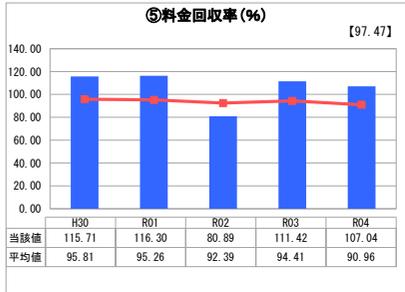
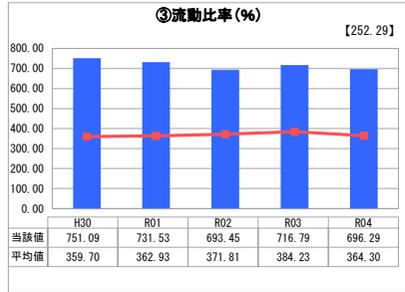
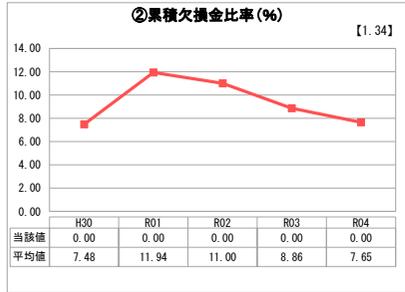
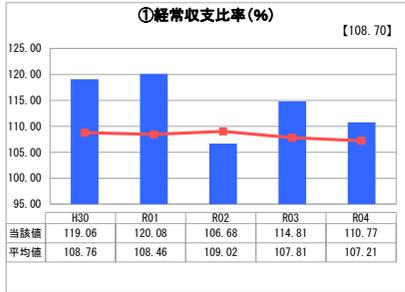
熊本県 芦北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	70.40	69.04	3.300	

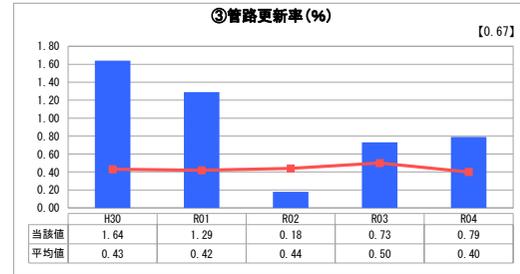
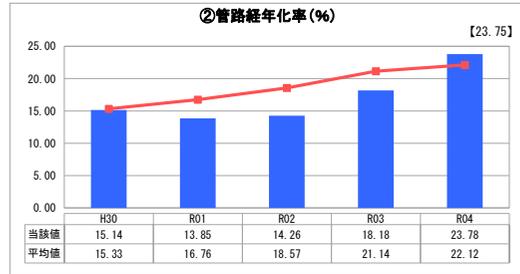
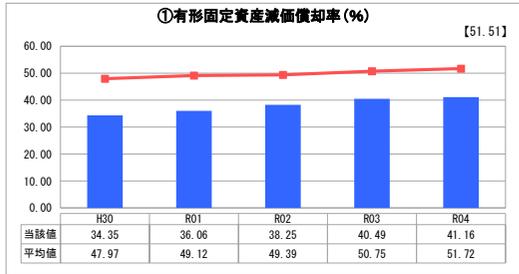
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,724	234.01	67.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,749	102.40	104.97

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

本決算の経営面の数値は、令和2年7月豪雨災害からの復旧復興を経て、災害以前の状況へ改善し、有収率を除けば、良好な決算状況であると考えます。

- ① 経営収支比率は110.77%と、前年度比4.04ポイント減少しましたが、類似団体平均値（以下、平均値）を上回っており、良好な値を示しています。なお、② 累積欠損金は発生していません。
- ③ 流動比率は平均値を上回っており、短期債務に対する支払い能力及び長期健全性が保たれています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、企業債の借入について抑制しており、減少傾向にあります。
- ⑤ 料金回収率は、委託料、動力費の増加により前年度から4.38ポイント減少しましたが、平均値を上回っており、配水管の更新等に充てる財源を確保しています。
- ⑥ 給水原価は、委託料、動力費の増加により前年度から6.01円増加しましたが、良質な地下水に恵まれており、平均値より低く抑えられています。
- ⑦ 施設利用率は、平均値を上回っており、今後も効率的な運用に努めます。
- ⑧ 有収率は、前年度から0.16ポイント増加しましたが、平均値を大きく下回っているため、今後も最重要事業として、漏水調査及び老朽管の更新を行っていくことで有収率の向上を目指します。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は平均値を下回っているものの、耐用年数に近い資産も多く、施設の更新の必要性が高いといえます。
- ② 管路経年化率は平均値並みですが、管路の老朽化が深刻であり、このことが有収率の低下に繋がっています。
- ③ 管路更新率は平均値を上回っていますが、計画に基づき更新を行い、さらなる向上を図ってまいります。

全体総括

全体的に決算による経営状況はおおむね良好であります。有収率の向上など、将来にわたり強靱な水道を築いていくための課題は多岐にわたります。

今後は、平成30年度に策定した経営戦略の数値を毎年精査しながら、課題解決に努めてまいります。

また、強靱な水道となるよう、近隣市町や県とも情報交換を図りながら互いに連携し、様々な事業に取り組んで参りたいと思います。